



会 津 大 学 後援会だより

第 32 号

発 行：会津大学後援会（事務局 学生部学生課）

発行日：平成 26 年 8 月 10 日

住 所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電 話：0242-37-2515（FAX0242-37-2526）

U R L：http://www.u-aizu.ac.jp



学長あいさつ

会津大学長
岡 隆 一

ここでは1つの小さな話を書きます。それは、親にとっても社会にとっても、学生に経済的支援を行うというものの周辺にはどんなことがあるのだろうか、という話です。

米国では富豪の親であっても、子供の大学での学費を援助しないで、極貧に近い生活を学生にさせる場合がありますと聞きます。一方、日本では親は苦しくても子供の教育出費を惜しまないこともあります。日本の場合、子供はそれを当然と思うようなところがあり、あるいはそれに気づかないで大学生活をおくる場合があります。上記の2つのどちらがいいのか、背後にある社会文化の価値観によるので、一概には断定できません。ただ、このような保護のためか、日本の学生は精神的年齢が低いともいわれます。学生の親からの学資支援に程度問題があるにせよ、これは個人的な問題として位置づけられることになります。

人間は生まれてから社会で一人前になるまでの期間は、他の動物と比べ格段に長いので、保護される期間が長いのは人間の宿命であるといわれています。哺乳類の動物は生まれて10分もすると、すたすた歩き出し、鳥も孵化して一月もしないうちに巣から飛び出します。人間は、頭脳がある程度成熟しないと知識社会で生活を送れません。これは、生物的生活のみに生きる動物との決定的な違いです。

頭脳の成熟のために、いまや大学までの教育を受けるのは先進国では「通常」となっています。それゆえ、その長い保護期間のための費用を確保することが難しくなります。この負担は本来個人的な問題ではないという見方があります。少し前には、イタリア、ドイツなど教育は大学まで無償の国がありました。これは国家による教育に対する完全な相互扶助の実現ですが、近年これが残念にも廃止されてきました。しかし、日本は現在、教育の公的支援の GNP 比は先進国では最低レベルであり、これは上げられて然るべきであると思います。現在、日本の学生の親の経済的負担は大きすぎます。公的支援を上げるべきというのは、それは諸外国との比較からの理由ではなく、教育の本質的意味からそうなのではないでしょうか。人間は、自らが生きていく社会を知識社会としました。それゆえ動物より生産性の高い生きる環境が構築できました。そのことは、そこで生まれた人は長期的な知的成熟を強制されると同時に、社会もそれなしには成り立たない状況にもなっているということです。この関係は双方にとって切り離すことができません。端的に、社会は国民に大学教育を与えるための大きな経済的援助をすることなしには、社会自体が自ら生き残っていけないことを意味しています。

そのような中で会津大学の後援会は学生を経済的に支援する目的で設置されています。皆様方から支援頂いた会費は、個人的に行われるべきことを組織的に行うことで、より有効に使うことを目指しています。また、これまでの様々な経験と情報を蓄積し、より効果的な支援活動になるよう努めています。これからも、会津大学生の学生生活がより充実したものとなるよう支援するために、皆様のご協力をよろしくお願いします。



会長あいさつ

会津大学後援会会長
橋 本 修 一

昨年に引き続き後援会長を仰せ就かりました橋本修一です。よろしくお願い致します。会津大学は平成5年に日本初のコンピュータ理工学専門の大学として開学し、昨年、開学20周年の節目を迎えることができ

ました。これもひとえに、皆様のご支援とご指導の賜物と深く感謝しております。昨年は開学20周年にあたり、後援会と同窓会が協力し、記念講演会や記念パーティを開催するとともに、記念品として大学エンブレム付きの演台を大学へ寄贈しました。

また、今年度より、会津大学長が角山学長から岡学長に変わりました。角山学長におかれましては大変お疲れ様でした。岡学長におかれましては、大いにご期待申し上げます。

さて、後援会では、今年度も学生の福利厚生の実現や進路対策のための支援事業に力をいれて行きたいと

思います。福利厚生充実のための支援といたしましては、新入生オリエンテーションの経費補助や朝食定期券補助事業などを実施します。また、スキルアップ奨励金として、TOEIC 等の語学試験で高得点を獲得した学生や高度の情報処理技術者試験の合格者には最大 3 万円の奨励金を助成します。進路対策のための支援としましては、就職活動の交通費の補助や宿泊費の一部補助を行います。後援会では学生が充実した学生生活を送ることができるよう様々な支援を行っています。学生のみなさんには、より良い学生生活となるようこれらの支援を十分活用していただければと思います。

さらに、後援会会員である保護者の皆様のための事業としましては、学園祭時に本学の現状をお伝えする「会津大学報告会」や講師を招いての「就職講演会」、保護者のための「修学・進学相談会」を実施します。これらの事業は、年に 1 度、会員の皆様へ会津大学の現状をお伝えし、学生を取り巻く就職活動の現状を知っていただける貴重な機会です。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

今後も大学と連携し、学生にとってより良い支援を実施して行きたいと思います。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

会津大学の海外派遣留学支援事業

<研修報告>長坂 卓さん（ローズハルマン工科大学、平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月 中期派遣）

今回私は、JASSO の留学支援プログラムを利用して会津大学と単位互換協定を結んでいるアメリカ、インディアナ州のローズハルマン工科大学へ留学してきました。約 7 ヶ月間の派遣期間に対して、海外での新しい生活に期待する一方、見知らぬ土地でうまく生活していくことができるのか、という不安がありました。

ローズハルマン工科大学（以下、ローズ）は、アメリカの中でもトップランクの大学です。ローズでは日本で一般的な時間割とは異なり、50 分を 1 コマとし、ほぼ毎日同じ時間に同じ講義が行われます。毎日のように課題があり当初は、課題をこなすことで精一杯でした。しかし、ローズには学生の勉強をサポートする仕組みが整っており、更に友達も非常に協力的で、留学の一つの目標でもあった単位修得と会津大学での単位互換が実現できました。毎日のように図書館へ通い、仲の良い友達と課題をしていたことが懐かしく感じます。

生活面でも非常に辛い日々が続きました。英語でのコミュニケーションがうまく取れず、伝えたいことも満足に伝えることができず非常に悔しい思いをしました。また、極度に乾燥した気候や、生活スタイルの違いなどが余計につらい気持ちを増幅させましたが、これらの経験が後々の生活にとって良い刺激となりました。

学期の間には 1、2 週間の休みがありました。この間に友達と旅行に行ったり、一人旅をしたりしました。そこでできた友達とは今でも交流を続けており、先日とも来日した友達と東京で交流しました。

今回の留学では、自分が、家族や先生、友人を始めとする多くの人に支えられて生活しているということ強く感じる事ができました。留学中は苦しく辛い時間も多くありましたが、そのような時に励ましてくれる友達や、相談できる相手がいたことで困難を乗り越えることができました。留学が自分の今後の成長とこれからの人生に良い影響を与えるものだとして強く感じました。今後は、今回の留学の経験を活かして社会に貢献していきたいと思っています。



平成 25 年度派遣実績・平成 26 年度派遣実績予定

	研修期間	派遣学生（派遣時学年）
海外短期派遣 *JASSO 奨学金	平成 26 年 3 月 9 日～3 月 30 日 【3 週間】 (ローズハルマン工科大学：米国)	賀澤朝一郎（学部 1 年）、吉田 将司（学部 1 年） 渡邊 翼（学部 1 年）、丸山滉太郎（学部 1 年） 山内 翼（学部 1 年）、高田 笑里（学部 1 年） 森野未沙登（学部 1 年）、三浦 和紀（学部 2 年） 伊黒 裕貴（学部 2 年）、橋本 雅人（学部 2 年）
海外中期派遣 / JASSO 奨学金	平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月 平成 26 年 8 月～（予定） 【3 か月～1 年間】	長坂 卓（学部 3 年） （未定）

平成26年度会津大学後援会活動について

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しております。

平成 25 年度決算及び平成 26 年度事業計画・予算につきましては、4 月 2 日に開催しました平成 26 年度後援会総会において下記のとおり承認されました。

〈平成25年度会津大学後援会決算〉

(単位：円)

	科 目	決算額
収 入	会 費	12,450,000
	雑収入	953
	バス利用料	214,000
	繰越金	2,815,881
	収入計 (a)	15,480,834
支 出	会議費	109,845
	事務費	306,182
	事業費	12,613,979
	学生課外活動助成費	7,000,000
	厚生及び進路対策費	5,082,979
	研修等助成事業費	100,000
	スキルアップ奨励事業費	431,000
	予備費	0
	計 (b)	13,030,006
	当期収支差額 (a) - (b)	2,450,828
	次期繰り越し	2,450,828

〈平成 26 年度会津大学後援会予算〉

I 平成26年度会津大学後援会予算

(単位：千円)

	科 目	予算額
収 入	会 費	12,350
	雑収入	10
	バス利用料	250
	繰越金	2,450
	計	15,060
支 出	会議費	150
	事務費	500
	事業費	13,620
	学生課外活動助成費	7,000
	厚生及び進路対策費	5,620
	研修等助成事業費	400
	スキルアップ奨励事業費	600
	予備費	790
	計	15,060

〈平成25年度会津大学後援会「20周年記念事業」決算〉

(単位：円)

	科 目	決算額
収 入	記念事業積立金	3,000,000
	雑収入	1,287
	計 (a)	3,001,287
支 出	記念講演会	345,340
	記念パーティ	441,932
	記念品の寄贈	144,375
	事務費	180,000
	学園祭支援金	300,000
	予備費	120,069
	計 (b)	1,531,716
	当期収支差額 (a) - (b)	1,469,571
	次期繰り越し	1,469,571

II 平成26年度記念事業積立金予算

(単位：千円)

	科 目	予算額
収 入	雑収入	1
	繰越金	1,469
	計	1,470
支 出	該当科目なし	0
	計	0

〈平成26年度会津大学後援会役員〉

役 職	氏 名
名 誉 会 長	岡 隆 一 (会津大学長)
会 長	橋 本 修 一
副 会 長	上 野 善 弘 奥 山 和 則
監 事	三 浦 和 紀 加 藤 知 子
委 員	遠 藤 久 男 菅 智 子
	加 藤 純 雄 鈴 木 伸 康
	羽 入 崇 子 佐 藤 喜 之
	鈴 木 絹 子 菅 野 孝 之
	山 口 郁 代
常 任 委 員	齋 藤 敬 之 (会津大学事務局長)

〈平成26年度会津大学後援会事業計画〉

年月日	主 な 事 業 の 概 要
平成26年	4月～翌3月 クラス活動支援
	4月～翌3月 新入生クラスミーティング運営費補助
	4月～翌3月 TOEICテスト支援 (年会費等)
	4月～翌3月 就職活動交通費補助、就職活動宿泊費補助
	4月～翌3月 ボランティア活動費補助事業
	4月～ 朝食定期券補助
	4月2日 平成26年度後援会総会及び第1回後援会役員会
	4月3、4日 新入生宿泊オリエンテーション経費補助支援
	4月20日 春期情報処理技術者試験送迎バス運行
	7月 学生会への助成、学園祭実行委員会への助成
	8月 後援会だより (第32号) 発行
	10月11日 会津大学報告会
	修学相談会
	就職講演会
平成27年	10月11日 第2回役員会
	10月 秋期情報処理技術者試験送迎バス運行
	3月 後援会だより (第33号) 発行
	3月 第3回役員会
	3月20日 卒業記念パーティー

学内ニュース

キャンパスベンチャーグランプリ全国大会審査員特別賞 会津大生 尾上さん

3月6日(木)、日刊工業新聞主催の「第10回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)」全国大会が開催され、学部2年生(当時)の尾上友一郎さんがビジネス部門審査員特別賞を受賞しました。

尾上さんは、「会津の四季を詰め込んだ会津名物『さくらあげ』」を提案しました。「さくらあげ」はたこ焼きの蛸のかわりに 会津の名物である馬肉を使用した新しい食べ物です。

※会津 IT 日新館：地域のベンチャー企業や自治体と連携し、それらのニーズに対応したテーマで「ベンチャー体験工房」群を構成。それぞれの工房では、地域企業の経営者等から指導を受けながら、ニーズを満たすソフトウェア開発など製品化にかかるプロセスを体験し、確かな技術と起業家精神を養うことを目的とする。

尾上さんのアイディアは「第4回あいづ農商工観学フェア」、「第9回キャンパスベンチャーグランプリ東北大会」において最優秀賞を受賞し、今回の全国大会へ出場となりました。会津大学のベンチャー体験工房「会津 IT 日新館」(*)の一環で開講している「ベンチャー基本コース各論Ⅰ」において、IT の応用や会津の歴史や文化を活用したビジネスプランの企画として作成したものが元となっています。

平成25年度学位記授与式



3月20日(木)、平成25年度学位記授与式が開催されました。コンピュータ理工学部を卒業した209名、大学院コンピュータ理工学研究科において所定の課程を修了した59名は、それぞれの進路で社会への貢献を目指します。

授与式では角山茂章学長(当時)が学部卒業生総代の澤井秀仁さんらに学位記を授与し、「震災等さまざま

な困難があり苦労したと思うが、世界が活躍を待っている。輝かしい人生を送ってほしい」と式辞を述べました。答辞では、学部卒業生代表の平野雅さんが「会津大学で得た経験を生かし、震災で苦しむ人たちの困難の壁に、希望の扉を開けられるよう精進していきたい」と誓いました。

授与式終了後には、記念写真撮影及び個人学位記の授与、学生食堂にて後援会主催の卒業記念パーティが行われました。晴れやかな雰囲気の中、参加者たちが歓談を楽しんでいました。

在学生表彰

3月27日、平成25年度における各学年の成績優秀者に表彰状が送られました。

会津大学では、GPA(Grade Point Average)による成績評価を導入し、各学年のポイント上位3名を表彰しています。GPAは大学における成績評価方法の国際標準として認知されており、就職や大学院への進学、海外留学にも重視されているものです。

表彰式では、東原恒夫学生部長から表彰状と後援会から副賞として図書カードを成績優秀者にそれぞれ手渡し、

学年(受賞時)			
1	齊藤 智博	吉田 将司	児島 弘将
2	渡部 智史	塩澤 隼人	小檜山 裕太
3	北澤 拓也	石川 健太	四家 紀夏利

「GPAは進学でも就職でも有利になる。他の学生の規範となるよう、これからも勉学に励んで欲しい」と激励しました。成績優秀者は左記の通りです。なお、4年生は学長賞、優秀賞として学位記授与式に表彰されました。

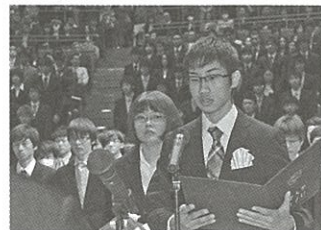


平成26年度入学式

4月2日(水)、会津大学にて平成26年度入学式が開催されました。学部入学生247名、博士前期課程51名、博士後期課程8名、合計306名が入学しました。

岡隆一学長は入学生を歓迎し、「IT技術は、産業や科学技術の隅々まで浸透している基幹技術であり、本学はそのIT技術を専門とする大学だ。本学でIT技

術を学んだ皆さんの活躍が福島復興につながる」と挨拶しました。入学生を代表して相原智晃さん、鈴木恵利さんが宣誓を行いました。



学生の活動紹介 —このコーナーは学生が書きました—

学生会活動紹介

初めまして、今年度学生会長を務めさせていただきます。五十嵐と申します。未熟者ですが精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

平成25年度の主な活動

去年度の主な活動として学生総会の運営、20周年式典の参加、各種イベントの開催を行ってきました。

学生会総会運営

学生総会では予算の制定、会則の変更等会津大学生にとって重要な方針の決定を行います。その総会の運営と、予算編成委員会の実施等も執行部が行っております。

学内向けのイベント運営

執行部は学生間の交流を目的に学内向けのイベントも開催しております。4月には新入生歓迎会、12月にはクリスマスパーティの2つのイベントを開催し、多く



の生徒、サークルが参加しました。また、昨年度は会津大学開学20周年式典が開催され、式典では会長の高島洋介（当時）が学生代表として誓いの言葉を宣言しました。

今年度の活動方針

今年度は20周年も無事に終え、去年と比べ落ち着いた年になると思います。そこで、次の3つを目標にしたいと思います。

- ①学生会会則の見直し・改善：現在、学生会会則には現状と合致しない等、多数の問題があります。そこで今後のためにも現会則をもう一度しっかりと整理し、追加すべき項目、変更すべき項目を全学生会で議論して出来る限り改善していこうと思います。
- ②予算編成委員会の改善：予算編成委員会のあり方は現状と一致しておらず、かなり苦しい状況となって

います。今年は、先輩から受け継いだノウハウを活かし、より良い予算編成委員会の開催へ繋げるよう努力していきます。

- ③他大学との積極的な交流：他大学との交流を今年度は積極的に行い、他大学の現状や意見を聞くなどして、今後の学生会の発展へつなげていこうと考えています。

前年度から続いている意見箱の設置も継承し、積極的に意見を取り入れて行くと共に、伝統となっている各種イベント開催、学生会内の交流を深めていく活動も計画しています。

平成26年度活動計画

- 5、6月 予算編成委員会、予算総会
- 10月 学園祭へ企画出展
- 12月 クリスマスパーティ開催
- 4月 新入生歓迎会、決算総会



学園祭実行委員会

こんにちは、学園祭実行委員会です。私たちは10月11日(土)、12日(日)に開催する蒼翔祭に向けて準備を行っています。今回は現在予定している企画を簡単に紹介したいと思います。

今年の蒼翔祭テーマ『遊』に合った、大人から子供まで楽しめる企画を計画しています。他にも例年おなじみのサークルや留学生による模擬店や企画、同時開催オープンキャンパスも行います。より会津大学を知ってもらえるきっかけになること間違いなし！
新しい企画盛りだくさんで、たくさんの素敵な思い出を作れるような蒼翔祭にしていきます！

☆企画紹介☆

- 【ステージ企画】大抽選会・大声大会・早食い大会・男女装コンテスト・サークル対抗クイズ
- 【多文化スペース】伝統工芸体験・茶の湯塾・B級グルメ
- 【その他】ゲームラリー・花火・フリーマーケット・ポスターショー・射的・ふわふわキビタン

委員一同、皆様のご来場をお待ちしております！！

サークル紹介

<会津大学管弦楽団Dolce>



はじめまして。私たちは会津大学のオーケストラサークル、会津大学管弦楽団 Dolce です。当団のサークル名に含まれております“Dolce”という言葉ですが、イタリア語の音楽用語で“甘く、やわらかく、やさしく”という意味をもっております。私たちは団員全員で“Dolce”のように甘くやさしい音楽を奏でていくことを目標として活動しております。またオーケストラと耳にすると、どうしてもクラシック曲を演奏するというイメージがあるのではないのでしょうか。しかし私たちはクラシック曲の他にも現代で流行っているポピュラー音楽や映画音楽なども演奏しております。クラシック曲が好きな方はもちろん、ポピュラー音楽が好きな方、映画音楽が好きな方など一人でも多くの方

に楽しんでいただけるように演奏をしております。

会津大学は昨年度で開学 20 周年を迎えましたが、当団は 2001 年に弦楽器のみのサークルとして発足し、2003 年より管楽器なども含めたオーケストラサークルとして活動を始めました。14 年目となります今年度は、5 月に加わった 7 人の新入部員も含め 17 人で活動しております。バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスと弦楽器のみの構成でかつ少人数ではありますが、一人ひとりが良い演奏をするために日々練習を重ねております。活動内容は、病院や企業や懇親会などでの依頼演奏、会津大学の学園祭である蒼翔祭でのミニコンサート、そして年に 1 度の定期演奏会と幅広く活動しております。これらの活動を通して、地域のたくさんの方々と交流を深めることができるのも当団ならではのことと思います。

最後になりましたが、来年の 2 月 22 日(日)に会津大学管弦楽団 Dolce 第 14 回定期演奏会を会津若松市にあります會津風雅堂で開催する運びとなりました。演奏を聴きに來てくださる多くのみなさまの心に残るような演奏会にするために、団員一同精一杯演奏をさせていただきます。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

<会津大学混声合唱部>

私たち、会津大学混声合唱部は、毎週水曜日の放課後に合唱の基礎練習・楽曲練習を行っています。それらの練習や、蒼翔祭・アンサンブルコンテストなどの演奏発表の場を通して、合唱音楽の奥深さ・楽しさを学んでいくことが私達の活動目的です。

○これまでの活動

春は会津大学及び会津短期大学の新生歓迎会で『チェリー/スピッツ』の合唱を披露し、秋は蒼翔祭で『運命/ヴェートーベン』『Sleeping Lion/ライオンキング』『Oh Happy Day/天使にラブソングを2』『残酷な天使のテーゼ/新世紀エヴァンゲリオン』等の合唱を披露しました。中でも、全国的にも珍しい試みとして、ブレイクダンスサークルと合唱部のコラボレーションを行った『残酷な天使のテーゼ』は注目を集めました。部員同士の親睦を深めるために、夏にはバーベキューや東京観光などを行い、より調和のとれた歌声で蒼翔祭の舞台に臨むことができました。

○これからの活動

今年の春からは新入部員も多く加入しました。なので、秋の蒼翔祭、冬のクリスマスコンサートやアンサ

ンブルコンテストに向けて、合唱曲のストックを増やし、演奏のクオリティをさらに上げるべく練習を継続します。また、新たな試みとして、合唱ではない形で部活動として歌を楽しみたいという学生に門戸を開くべく、アカペラ部門の設立を計画しています。アカペラ部門が設立した暁には、『A Cappella Spirits ~アマチュアアカペラ全国大会~』、『ハモネププロアマ大会』、『ADC-全国選手権大会-アカペラドリームカップ』等のアカペラの大会への出場をし、また他大学のアカペラサークルとの交流やセッションも予定しています。合唱部は今年度で三年目の活動になりますが、先ほど挙げた新しい試みも交えつつ、さらに多くの方々に楽しんでいただける音楽活動を目指します。



「学|生|相|談|室|か|ら|」 「質問する勇氣」

大学のキャンパスは新学期を迎えると急に賑やかになります。この4月、学生相談室はこれまでにない多くの新生が利用しました。来室理由は様々で、授業開始を前にしての切羽つまった様子の学生たちもいたのですが、今は新しい生活に慣れ、他の学生たちと同じように大学生活のスタートラインを後にしつつあるようです。

さて、大学では学生の意識調査を継続して行っていますが、その結果に変化がみられます。かつては、不安や悩み「有」が「無」を大きく超えていたのですが、その差が縮まり、2010年には、不安「無」が「有」を上まわりました。学生相談室でも新生アンケートを実施していますが、こちらでは、入学後予想される困難として、「勉強についていけるか」と「対人関係がつくれるか」の割合が減少し、「初めての一人暮らし」が増加しています。ちなみに、これら3項目は例年、新生の間の予想困難トップ3で、中でも「勉強についていけるか」は常にトップです。

元気印そのもののような学生が増える中、困難を抱えている学生たちもいます。多くの困難は人間関係に帰着し、対人関係を苦手もしくは極端に難しいと感じている学生が少なからずいます。困難の度合いは相談室のアンケート結果からもある程度予想できます。こころの健康度の自己チェックは、平均5点（困難小を0点、困難大を20点とする）で推移していて、多くが比較的スムーズな日常生活を送ることができていると考えられます。しかし高い値（困難大）を示す学生たちもいて、2013年は10点を超える学生が14%、15点を超える学生が6%となっています。不安の高さは必ずしも学生生活への適応度と一致しません。悩む力のある学生で、問題意識が高いために多くの項目を選択する学生がいます。これには、自

立心旺盛で数々の困難に果敢に立ち向かいながら自分の目標に近づいていく学生が含まれています。他方、成績も良く真面目な学生の中に、急に歩みが止まったようになる学生がいます。過剰適応の問題が両者に透けて見えるのですが、本当に困った時に人に助けを求めることができさえすれば、優秀な社会人としてやっていく素質十分な若者たちです。

困難にぶつかると本来の活動が停滞しがちになり、学生は焦ります。そして、それまでが順調であればあるほど親は驚き、つい叱咤激励したくなるようです。しかし、時には立ち止まって自分の生き方や人との関係を見直すことも必要で、躓きは学生が自分の課題と向き合う貴重な機会にもなります。のんびりしている学生、急ぎ過ぎの学生など様々ですが、学生の話に耳を傾けていると、決して無駄に時間を過ごしているのではないことが伝わってきて、大学の時間の流れには学生一人ひとり固有の時間があることがわかります。

わからない・迷う・困ることは、大学生活では日常茶飯事です。その時、友人や先生に相談することは不可欠で、それができないと問題は大きくなってしまいます。「質問していい」と思えたら、自分の困難を伝えるのはそう難しくないでしょう。しかし、人から相談されることはあっても自分からは相談しない・できないという学生も少なくありません。人を信頼できるか、さらには自分を信頼できているかにかかわる問題ですが、家族も含め周りには必ず支援してくれる人たちがいます。一人で悩まず、困っている自分を出す勇氣、友達や先生に相談する勇氣を持ってほしい、そんなことを願いながら学生の皆さんのお話に耳を傾ける毎日です。

学生相談室 カウンセラー 林幸子 電話：0242-37-2610 メール：counseling@u-aizu.ac.jp

平成25年度進路結果

会津大学の就職内定率（就職者／就職希望者 平成26年5月31日現在）は学部が93.8%で、前年同期差2.4ポイント減となりました。なお、博士前期課程の就職内定率は前年同様に100%でした。

平成25年度進路決定状況(平成26年5月31日現在)

		進路希望		決定者数	
就職	民間企業			131	122
		県内		28	26
		県外		103	96
	教員		8	8	
	公務員・団体等		5	5	
	起業・家業		1	1	
合 計				145	136
就職率				93.8%	

		進路希望		決定者数	
進学	本校大学院		50	50	
	他の大学院		3	3	
	海外の大学院		0	0	
合 計				53	53

主な就職先

【県外】 NTT-ME、NEC ソフト、OKI ソフトウェア、富士通エフサス、日立ソリューションズ、JR 東日本情報システム、NS ソリューションズ東京、サイバーエージェント、ドワンゴ、NRI ネットコム、リッチメディア、茨城計算センター、東日本旅客鉄道、日本郵便、アドウェイズ、エキサイト

【県内】 エフコム、クラフト、シンク、福島コンピュータシステム、寿泉堂総合病院、郡山信用金庫、東邦銀行、福島銀行、リオンドール、アルパイン技研

| 修 | 学 | 支 | 援 | 室 | Office for Learning Support

修学支援室は、学生が自由に勉強できる場所として研究棟に設けられています。学生は、講義・演習だけでは理解できなかったことを、常時待機している修学支援員や、大学院生・学部生による TA・SA に質問することができます。その他にも、ワークステーションの使用や参考図書の閲覧など、様々な目的のために利用できます。来室者数は年々増大しており、今年度も多くの学生が勉学の間として修学支援室を利用しています。



数学補講

修学支援室では、4月から新入生向けに、数学の補講を行っています。特に高校時代に数学Ⅲ・Cを履修していないか、もしくは苦手としている学生を対象としています。参加学生は、事前に提示された問題を解き、講義の時間にその問題の解説を聞いて、微積分などの分野の理解を深めています。

来室のべ学生数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均
2012	760	571	421	534	37	18	248	406	245	354	52	6	3,652	304
2013	758	787	507	772	162	15	320	502	266	380	158	10	4,637	386
2014	568	522	390	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

修学支援室 電話: 0242-37-2758 FAX: 0242-37-2747 メール: ofls@u-aizu.ac.jp

| 保 | 健 | 室 | か | ら | 「ストレスと健康」

ストレスを欲求充足の欠如に伴う不快さにとらえると、ストレスとは単なる悪者ではなく、健康を維持する大切なサインと考えることができます。健康に生きるとは欲求充足の欠如に伴う不快さを避け、その欲求充足行動の連続だからです。例えば「のどが渇いている」としたら、その「のどの渇き」は体内の水分が足りないことから生じた不快さです。その不快さを避けるために水が飲みたくなり、水を飲めば水分不足は解消し、健康を維持することができます。私たちに行動を促す欲求には身体の欲求（生理的欲求、一次的欲求：生命維持のための個体保存、種族保存）と心の欲求（心理社会的欲求、二次的欲求：慈愛願望欲求、自己信頼欲求、慈愛欲求）があります。衣・食・住が足りている生活では、心の欲求充足が大きな課題となります。

ストレスを受けると、私たちの体の中では、防御のために生理的反応（体温、血圧、脈拍の上昇など）が起きます。この生理的反応は自律神経系の交感神経と副交感神経の働きによるものです。自律神経系は一方が興奮すると、バランスを取り戻そうとし、もう一方も反射的に興奮します。短距離走のスタート直前の身体感覚を思い出すと、心臓がドキドキ、のどの渇きを思い出すでしょう。これは交感神経が興奮しているサインです。

この交感神経の興奮が過度になると、バランスを取り戻すために副交感神経が強く興奮し、吐き気または吐く、下痢、頻尿などの症状が現れます。ストレス状態が長期にわたると自律神経系のバランスを崩し、行動症状（仕事依存、ゲーム依存、アルコール・薬物依存など）や身体症状（高血圧、高血糖、円形脱毛症、吹き出物、痔、腰痛、肩こり、頭痛、冷え、便秘、不眠、歯槽膿漏、顎関節症など）、精神症状（怒りっぽくなる、気分が落ち込むなど）が現れ、大きな健康問題となるかもしれません。

健康を維持するためには、自分のストレス（欲求充足の欠如）に気づき、それをバランス良く充足するために、自分の欲求に見合った目標設定（自己信頼欲求または自己信頼欲求と慈愛欲求を同時に満たす目標とする）、目標達成のための見通しを時間管理のなかで確保する、目標達成のための手段的、情緒的支援を得る、心身の緊張を緩和する、周りの環境からの過剰な刺激をマネジメントし、具体的・現実的なストレス対処行動をとることが必要と考えます。

慈愛願望欲求：人に無条件に愛されたい、認められたい、期待されたいなど
自己信頼欲求：人の評価はどうあれ自分を認めたい、愛したい、成長させたいなど
慈愛欲求：人の評価はどうあれ、無条件に人を愛したい、信じたい、尊重したいなど

<心の本質的欲求> 出典：SAT法を学ぶ 宗像恒次他 金子書房

ストレスを友とし、心身ともに健康な生活を送りましょう。

看護師 阿部さえ子 電話：0242-37-2517 メール：nurse@u-aizu.ac.jp

後援会事務局からのお知らせ

10月11・12日（土・日）の2日間にわたり学生主催の「蒼翔祭」（学園祭）が開催されます。後援会では蒼翔祭に合わせて、10月11日（土）に「大学報告会」「就職講演会」「保護者のための各種相談会」の実施を予定しています。詳細については同封の案内をご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしております。